

提出 順番	No. 6	平成 25年 11月 28日 午前・ <u>午後</u> 5時 10分受領
----------	----------	--

平成 25年 11月28日

幕別町議会議長 古川 稔 様

幕別町議会議員

小島 智恵



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
ふるさと寄附における特産品贈呈の取組みを。	<p>ふるさと寄附とは、任意の地方自治体に寄附することで寄附した額が税額控除される制度である。H20年4月「地方税法等の一部を改正する法律」により、個人住民税の寄附金税制が大幅に拡充される形で導入された。本町では、平成20年9月「幕別町ふるさと寄附条例」を制定し、「町民、企業、幕別町出身者などから寄附をいただく際、その思いをまちづくりに反映し、個性豊かで魅力あるふるさとづくりを進めること」を目的としている。</p> <p>最近では、寄附者に対して地元の特産品を贈呈する自治体が競い合うように出てきており、全国的にブームとなっている。上士幌町では、H23年8月から「感謝特典制度」として、十勝和牛やチーズ、ジャガイモの詰め合わせ等の特産品が選択でき、大変好評を得ている。申請件数もH22年には61件だったが、H23年の導入を機に、390件1,174万円余りと急増し、H25年10月末現在3,227件、4,651万円余りとなっている。「特産品が良かった」との声が多く寄せられ、中には毎年寄附するリピーターも多いとお聞きしている。</p> <p>本町では、寄附された方には感謝のお礼状を送付しているようだが、町内には安心・安全でおいしい特産品が沢山あります。このような特産品贈呈の取組みは、町外へのPR効果、町内経済の活性化につながり、町の税収増にも寄与すると思ひ、以下お伺いします。</p> <p>① 寄附の実績。(年度別、町内・町外の寄附者数、金額等)</p>

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>子どもたちの安心・安全を守るために。(PCB使用の蛍光灯、給食の異物混入時の対応等)</p>	<p>② 周知方法。 ③ 実施された事業、実施予定の事業。 ④ 寄附された方に、町内の特産品等を贈呈する取組みは。</p> <p>今年 10 月、胆振管内中学校で授業中に蛍光灯用コンデンサーが破裂し、生徒に PCB (ポリ塩化ビフェニル) が飛散する事故が発生した。</p> <p>PCB は健康や環境への有害性が確認されている。S43 年にカネミ油症事件により、その毒性が社会問題化し、S47 年製造中止も PCB 処理施設の設置が進まず、長期保管の紛失・漏洩による環境汚染の懸念から H13 年にいわゆる PCB 特別措置法が公布され処理が進められることになった。</p> <p>こうした事故の発生により、安心・安全な環境整備が強く求められており、町内の教育施設(公共施設)では、PCB 使用の蛍光灯は撤去されているのか、適切に処理されているのか、お伺いします。</p> <p>また、今年 9 月岐阜県の市立小中学校では、給食に出されたパン約 100 個にハエが混入し、ハエが付着した部分を取り除いて食べるように指導していたと判明。ハエの混入は生徒が見つけた。異物混入時「健康に影響がない場合は食べる」との方針がマニュアルで示されており、「コバエは毒性がなく安全上問題ない」として、このような対応に至った。市周辺では例年に比べハエが大量発生し、パンは民間のパン工場で作られ、1 個あたり 1～5 匹のハエが混入していた。</p> <p>また虫の混入のほかに、今年 10 月旭川市立の小学校ではナムルを食べた児童が異物に気付いて吐き出し、幸いけがはなかったが、調査すると調理器具の針金が古くなって欠落し、混入したとみている。</p> <p>そして近頃、この時期になるとノロウィルスが全国的に流行する傾向があり、毎年報道されている。</p> <p>以上の事例を踏まえて、子どもたちが直接口にする給食の安心・安全を脅かすことがないように、改めて衛生管理体制全般について以下、お伺いします。</p> <p>① 虫や調理器具の破片等、これまで異物混入の事例はあるか。混入時の対応は。 ② 設備や消毒、調理員への指導等、衛生管理体制。</p>